年間授業計画　新様式

# 高等学校 令和5年度（2学年用）　教科　　人間と社会　　科目　人間と社会

教　科：　人間と社会　　科　目：　人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　D　組

教科担当者：（　A～D組：　八木　宝珠　土田　鈴木　窪田　小崎　石塚　横山　　）

使用教科書：（ 人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版教科書　　）

教科　人間と社会　　の目標：

【知識及び技能】予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会とのかかわりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　人間と社会　　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。 | 社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会とのかかわりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。 | 演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | A 人間関係を築く<br>【知識及び技能】<br>予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会とのかかわりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。 | ・指導事項<br>学ぶことの意義<br>働くことの意義<br>・教材　Ｌｏｃｕｓ　Ｐｒｏｇｒａｍ<br>・一人１台端末の活用　等 | 【知識・技能】<br>様々な価値や考え方があるという多様性の理解や他者と共同することの意義を理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の行動の変化がある。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>他人事から当事者意識をもち、学習に主体的に取り組もうとする姿勢を身につけている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | | ・指導事項<br>ボランティアの意義<br>企業を切り口に社会の課題について考える<br>・教材　Ｌｏｃｕｓ　Ｐｒｏｇｒａｍ<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | | ・指導事項<br>マナーとルール<br>ネットコミュニケーション<br>サプライチェーンを切り口に社会について学ぶ<br>・教材　Ｌｏｃｕｓ　Ｐｒｏｇｒａｍ<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| 2学期 | B 地域社会を築く<br>【知識及び技能】<br>予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会とのかかわりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を身に付ける。 | ・指導事項<br>支えあう社会<br>体験活動　コンソーシアム活動<br>・教材　Ｌｏｃｕｓ　Ｐｒｏｇｒａｍ<br>・一人１台端末の活用　等 | 【知識・技能】<br>他者と協働する技能を身につけている。<br>【思考・判断・表現】<br>一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の行動の変化がある。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢を身につけている。 | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | | ・指導事項<br>地域社会<br>体験活動　清掃活動等<br>・教材　Ｌｏｃｕｓ　Ｐｒｏｇｒａｍ<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | | ・指導事項<br>地域社会<br>体験活動 防災活動<br>・教材　Ｌｏｃｕｓ　Ｐｒｏｇｒａｍ<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 3学期 | C これからの生き方を考える<br>【知識及び技能】<br>予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付けることができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会とのかかわりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。 | ・指導事項<br>活動のまとめ　キャリア甲子園の成果発表<br>・教材　SOLUTIONS<br>・一人１台端末の活用　等 | 【知識・技能】<br>必要な情報の収集・整理・分析ができる。<br>【思考・判断・表現】<br>自他の考え方や調べた知識等を他者に伝えることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>問いや課題を見付け、学習に主体的に取り組むことができる。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | | ・指導事項<br>1年間の振り返り　　進路選択に向けた情報収集<br>・教材　SOLUTIONS<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | | ・指導事項<br>3年次総合的な探究の時間に向けて基礎固め<br>・教材　SOLUTIONS<br>・一人１台端末の活用　等 | | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | | | | | | | 合計<br>35 |